

OB紹介



広島エフエム放送 営業 馬場 啓之 さん

「お仕事について
教えてください。」

広島FMで営業の仕事をやっています。ラジオ局での営業という仕事はイメージしにくいかもしれませんが、分かっていきたいと思います。ラジオという機械を売るわけではないので(笑) 私も最初は何をやるのか分からなかったんです。24時間放送している番組全体

が、一応売り物になります。テレビを見ていても、色んなCMが流れていると思いますが、民放局というのはCMでお金を稼いで番組を作っている、逆の言い方をすれば、番組を作ってお金を稼いでいるものなんです。どんな商品にして

があつて、我々買う人がいる。その流れで行くと、我々はメーカーに近い立場ですね。

ラジオ局というときみんなはリスナーで、それも媒体にとってのお客様になります。広告を出してくれる人もお客様になります。だから、両方にとって魅力的である必要がある。24時間週7日の放送をどんな放送にするか。それによって、うちの番組はこんな面白い番組なんです、こんな人に聞かれています、だからここに広告出したら効果がありますよということを説明していくことが営業の仕事です。放送の中でCMを流すことができる枠というのは限られています、その限

部の部員は全体が約30人に対し、6人です。しかし、扱っているスポンサーは数百

ですべてのスポンサーでも営業を行っていくことは不可能なので、色んな媒体の情報を仕入れて幅広く広告主さんに知らせていく、色んな提案をしていくという立場の広告代理店が仲介役を担っています。

営業の仕事が簡単にいうと、例えばうちの番

でこんな人たちに聞かれてから広告をのを説明していく仕事、それが対

理店の時
ジオ放送という限られた中で色んな事が出来まますよということを提案していくというのが仕事になりますね。

既存のCM枠にCMを出してもらうというのも仕事ですが、話をしていく中で、うちはこういう所にCM出したい、こういう番組だったからおもしろい

ようなニーズが出てきたら、営業から制作にこんな番組できないで

すかという提案、こんなコーナーやれないですかという事はあります。番組を作るのは制作だけではないので、営業でも入社前にやりたかったことはやれているし、そういう部分は面白いと思います。

「社員数約30人の内6人の方が営業とのことですが、それ以外
どんなですか？」

制作も部員で言ったら6人ぐらいしかいませんね。部署で言うと、総務・経理、営業、制作、それから事業広報

ります。何故事業と広報局がやるイベントは反面その放送局の広報活動でもあるからです。イベントを開催して収入を得る部分もある一方、広島FMはこんなことをやっている会社ですよという広報活動でもある。そういう意味合いでその部署は1つにまとまっています、そこに所属している社員は2、3人です。他の部

署は、分かりにくいと思います
が、業務というのは簡単にいうと
制作と営業の橋渡しみたいなこと
が仕事です。営業がCM枠を売っ
ていく中で今度こういうCMをや
ることになりました、この番組の
このタイミングにCM枠を設けて
ください、こここい
流れますというのを指示していく
ことが業務の仕事になります。

「今のお仕事に

就くまでの経緯は？」

私はテレビ局しかうけていな
かったん
テレビ局のアナウンサーしか受け
ていない
ぐらいからずっと東京、大阪、名
古屋、福岡まで各局全部受けてい
く中で、ふとラジオ局も受けてみ
ようと思って。ラジオは地域性の
ものだという感覚があったので、
聴い
るのはどうかと思いましたが。ラジ
オ局はいわゆるメインの時間帯は
ほとんどが自分のところで作った
番組を

の情報も頻繁に流すし、
着しているようなメディアだか
ら、聞いてい、

行ったこともない土地の放送局に
就職というのは考えられなくて、
広島だけラジオ局を受けました。
それがよく車で聴いていたFM広
島で、か

ていただいたと思っています。た
だ営業になったのはどうしてかと
言われたらそれは会社の決めたこ
とだから、自分ではよく分かりま
せん。やってみて割合向いている
方だろうとは思っています。
自分の局がどう思われ
その媒体の価値としてどう思われ
ているのかを一番感じるのとは多分
営業だと思うから、そういう面で
は面白いです。

「今までにお客さんの

満足度を実感した

お仕事はあり

私の入社前の話ですが、2000
9年の3月頃、ソレイユで行った
レミオロメンの公開録音は評判が
良かったようです。ソレイユから

すればそういうアーティストが来
ることで当然大勢の人が集まって
来るといふメリットを感じてもら
える、リスナーからしてもタダで
寄れるようなところで、生でアー
ティストのトークが聞けて見られ
てというのはメリットがあります

のショップに迷惑をかけたとい
うこともありましたが、未だにああ

せばできるといふものではなく、
それこそ色んなタイミングが合わ
ないとできないことなんです、
そういうまあまあ目に見えて成功
したな、という仕事は

ね。ただ、ラジオは長期的にやつ
てこそものだから、単純
した・成功してないということが
ちょっと

メッセージを作っていくことが長期的
で。例えばば

は、かつて若い子の食べ物という
イメージではなかったものを、若
い子が食べるものだ、い
じに変換してあげること、つまり



熱心に馬場さんの話を聞く編集委員

メーカーがやりたいと考えている
ことをうまくサポートできたら成
や売り上げを上げるような宣伝を
求められて実際に数字の上ではそ
の月は伸びたけれど、その後急落
したり、以前からのお
ていつてしまったりするようなこ
とになれば、それは成功とはいえ
ないと思います。ケケ
スですね。相手が求めていること
をやりとげてはじめて成功なの
で、難しいといえれば難しいです。

「総合科学部でよかったと思っ」とはなんですか？」

いろいろかじれたことですね。私の場合は特に色んな人と話す仕事だから。学

ものに手を出していて、最初は哲

ちよつと留学したから言語に関心を持ったり、野球をやっていたからスポーツについて勉強してみたりして：最終的にそれらが混ざってスポーツ哲学というものにとどり着きました。その中でも、専門分野に関係のない授業で文化人類学が面白かったとか、ジェンダー学の授業が面白かったとか：興味のある授業は何でも受けているから、その話を聞いたときにちよつとでも自分の中に蓄えているものがある。何でも興味を持って聞けるし：ああこれ前に授業でやったなと少しでも思い出

ち方が変わってくると思うし。色んなところにアンテナを、ことができるようになります。実際それが一番よかったことだと思

ます。



笑い合う馬場さんと編集委員

「送っていましたか？」

私は軟式野球サークルとバンドのサークルに入っていました。4年間お好み焼き屋でバイトをしていて、半年くらいは牛乳の仕分けのバイトもしていましたね。だから3年のときは結構生活がハードでした。大学に行って、お好み焼き屋でバイトして、それから夜12時からバンドの練習を午前2時とか3時までして、少し寝

て、朝6時に起きて牛乳の仕分けのバイトに行ったりしていたから：あの時はすごく満足感がありましたね。一日という感覚が分からなくなっはくるけど、あの時は：よかった。きつかったけど、すごががんばっているなという感覚

はありました。「こぼん」というお好み焼き屋さんでのバイトは、いい経験だったと思います。広島になじむきっかけにもなったし、地元のおじさんたちの広島弁も聞けたし。

「今も学生時代の友達とは交流がありますか？」

割とありますね。この前のフェニック福岡からわざわざそれだけのため

いる中で広大出身者に会おうと、それだけで親しみを、とよところはあります。

「後輩へのメッセージを
お願いしま

色んな考え方を学べば良はないかと思ひます。それこそ野球をやっているひとには野球をやっ

があるし、バイトの仕事の中ではその中で価値観があるし、色んな価値観に触れて、その中で自分が良いと思う考え方を自分のものにしていけたら良いのではないでわれないひとになれるように大学時代は過ごしてほしいと思ひます。だから何でも良いからちゃんとやってほしい。趣味なら趣味で、やるなら一生懸命やる。私の場合はバイトでしたが、一応4年間やっていたから、結構本気で持ちを持っていましたから。できるだけ気持ちよく接してあげたいとか、「あの店員さん良いね」み

たいな話を会計が終わった後でお客さんがしてくれないかなどかちよっと期待したりしてしまいましたね（笑）一生懸命やれば、その価値観みたいなのが見えてくると思うし。片足突っ込んで外から、自分の価値観が変わらないこともあるか

ば、
ことを学ぶ時期だと思うし、あまり色んなものを冷めた目で見ないで、そこにはそこから、素直にこういう考え方があ
るん

いかと思います。そのうちに、自分の好きな考え方を集めていけば良いと思うし。だから、だからなら徹底的にやらせるとかね。一週間くらい家から出ずにいようとか、思うことを実際にやってみたら良いと思いますし。それをやっていたら悟りけるかもしれません！（笑）
身全部を一生懸命やれていたかというところではないんですけどね。バイトは一生懸命やっています。一生懸命やっても嫌な

こともありましたけど。今学生時代を振り返ってみると、あれだけ時間があって何をやっていたんだろうと思うこともあるから…勉強を
今仕事をやるくらいに集中力でちゃんと全部やっていたら、もう少しちゃんと、色々やれたのではないかと思うこともあるから。何かひとつでも頑張ってみてください。

「将来したいことは

あ

音楽番組を作りたいかなとは思っています。作りたいというか、ちゃんとお金をつけて、自分の担当するクライアントのメリツトにもなりつつ、ちゃんと番組的にも面白いようなもの…作りたいですね。自分の好きな、例えばインストのバンドばかりを流すとか

くはまるるところを探したりとか…。といっても、この会社に入っ
た時点で

うと思っていたんだから、営業の立場でそれを実現させたいという気持ちがありますね。面白い番組を作りたい。私がやっているのは製作とスポンサーの意向との間をとるような仕事だから…いつかそういうものを作りたいです。1時間番組、30分番組でもいいから。やりたいことと言われれば、そんなところですかね。

◆一問一答◆

- ・趣味 自転車での遠出と野球
- ・好きな食べ物 最近汁なし坦々麺、あとはお好み焼き
- ・好きなスポーツ 野球と自転車
- ・好きな有名人 水川あさみ
- ・好きな音楽 ボブディラン、BUMP OF CHICKEN、ハンバートハンバート、斎藤和義
- ・好きな本 瀬尾まいこ「卵の緒」
- ・好きな映画 容疑者Xの献身、告白、ケンタとジュンとカヨちゃんの国
- ・好きな言葉 じぶんじしんを幸福だとおもわない人間はけっして幸福ではない。 サイラス

【担当】

21生 平野 詩歩

22生 綾部 佑香 井上 知紀 佐々木 達哉 原 未緒



読売
畑矢 今日子 さん

「お仕事について教えてください。」

言うまでもないですが、まだ入社して3カ月。右も左もわからない新人です。

主に事件や事故、火事などを書く警察担当をしています。担当の警察署に朝、夜との取材が入っていない時間などに行き

には、天候（大雨、真夏日など）や街のイベント、季節もの、先輩の取材の手伝いなど仕事は様々で、何の取材があるのかは自分でも

まだ把握しきれいていません。

学生

ニュースが報じる、国の真ん中の話」と、自

ろん実、は

が辞任すると街の声を聞く、高速道路を無料化すると観光客の感想、裁判员裁判では裁判员経験者や選考から外れた人の話、W杯ではパラグアイ戦

パラグアイ

けて観戦の様子を取材…など、全国の話題を県民の視点に置き換えて街の人の声を拾いに行きます。正直、日々ついていくのが精いっ

ぱいで分からないことだらけ。でも、法律や裁判だって日常生活にすぐく密接に関すること、この職じゃなかったら曖昧にしか知ることがなかったかも…と思うと、仕事をしながら色んな分野を勉強できるのは

しれません。そして、夏は高校野で。コアブックの付け方から練習しています…。

ライバルなのですが時にはグチを聞いたり、慰め合ったりしています。

ちな

10

な

いのに、記者には総科06の先輩もいます！

「今のお仕事に就くまでの経緯は？」

身近にいた記者の方々の話を聞いていて、

大学2年の頃

の

ました。その一方で、留学やフランス語の勉強もずっと続けたかったので、進学もギリギリまで考えたりしていました。それでも、就職活動でやりたい方面がある程度決まってるんだから、後悔しないように就活はしようと3年の1月に決めて…。就活では12社くらいしかエントリーしませんでした。2社を除いて他は地方紙数社と今の会社、地元テレビ局3社の記者職だったので、正直不安は大きかったですね。ただその分、1社にかける準

みにテレビ局は、もともと新聞に行きたいと思ってるのが伝わったのか、どれもあっさり終わりました。

3年生の時から始めたHTU-Styleと中国新聞のキャンパスレポーターの活動は、文章を書くことに全く慣れていなかった私

時の班に何人が加わったメンバーで、長期休
みには () に
は 20

には後悔しないように挑

して

しないで

たいなさすぎる！と思ひ、行っていました。他学部 학생にも、刺激と楽しい時間をさんもらいました。

3年生の後期には、フランスに4カ月留学ししし

の間のような規模で、ほとんどスペインの国境沿いに位置しています。日本人がほとんどいなかったので語学留学にはびったりでした。お金もそんなになかったので、他国はスペインしか行けなかったのは残念だったけど、国外で生活する経験を学生時代でことは今後の考え方も広げてくれるはず。留学を応援してくれた家族と先生に感謝です。

留

ん上がりました。総科の授業も文学部の授業も、フランス語の講義は大好きでした。

「後輩へのメッセージを

お願いします。」

総科の仲間はそれぞれが自分の知らないフィールドを持っています。入学前も卒業後も全然違う人が多いからこそ、総科で交われ

たことを

色ん

色ん

自分の世界もか

か

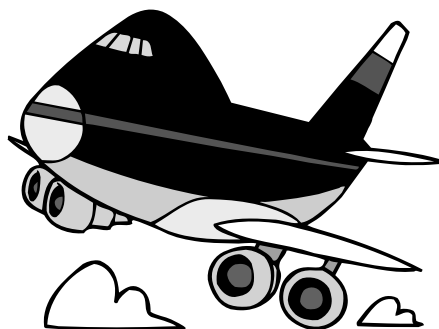
す。

「他学部に比べて専門性が浅いのでは…」と心配になることもあるかもしれないけど、先生はどの方も専門知識を豊富にもっていらっしゃるはずですし、自分が何かやろうと思えばどこまでもサポートしてくれる場所だと思います。様々な分野に仲間や先輩がいることで、この先思わぬチャンスや出会いにつながるんじゃないかなと楽しみにしています。そして、もし今総科生に戻れるなら、もっとたくさん総科の先生とも話をしたいです。

総科生は留学し

旅をしたり、フットワークの軽い人が多いような気がします。私の周りや後輩もそうでした。知らない場

際に足を運ぶには、大学時代ほど軽快に動けるときはないかもしれない。他の国も思ったより近づいているようにも思います。今自分



◆一問一答◆

・趣味

語学（フランス語と、大学4年の時に始めた韓国語をどうにか続けたいです）、友達と離れてから文通もよくします。

・好きな食べ物

高知に来て知った魚や貝、小夏などの果物もお

・

野球（観戦）、テニス。

・好きな音楽

Jason Mraz、Daniel Powter、コブクロ。
授業や留学中に知ったフランスの曲、韓国のK-POP好きです。

・好きな本

『「在外」日本人』。最近ヴィレッジバンガードで見つけた『ドーナツおんなになったら、なんになりたい？』。子どもたちの夢が写真付きで載っている。いつかこんな旅をしたいなあと思いながら夢を膨らませています。

・好きな映画

コーラス、スパニッシュアパートメント、クライマーズ・ハイ、その名にちなんで。

・好きな言葉

謙虚さと意地を持って Think globally, act locally.

【担当】

21生 平野 詩歩

22生 綾部 佑香 井上 知紀 佐々木 達哉 原 未緒